

# 令和3年度 事業報告

公益財団法人日本呼吸器財団

## (概要)

令和3年度はコロナ禍の影響を受けつつも公益目的事業は概ね計画通りに実施出来た。その概要は下記の通りである。

5年目を迎えた「研究助成」では34件の応募の中から5件の研究テーマに、また昨年に引続き募集した「COVID研究助成」では25件の応募の中から8件の研究テーマに助成し、研究助成金の総額は1,800万円となった。研究助成の関連では、4月22日から開催の第62回日本呼吸器学会学術講演会で平成31年度を受賞テーマの研究結果が報告される。

呼吸器疾患の教育啓発を目的に「呼吸の日(5月9日)」、「肺の日(8月1日)」に日本呼吸器学会各支部との共催による市民公開講座は、北海道と九州支部を除く6支部がオンライン形式で開催した。また11月にはGOLD日本委員会、日本呼吸器学会と共に「日本COPDサミット-COPDをよく知って新型コロナの時代を乗り越えよう!」を開催し、「市民講座助成」は160万円の実績となった。

「患者団体助成」は、ポリオの会、キャッスルマン病患者会、北海道低肺の会、再発性多発軟骨炎患者会の4団体に計40万円の助成を実施した。

コロナ禍の影響で1年遅れとなった「在宅呼吸ケア白書」作成の為の患者調査も調査協力依頼文書の配布から質問紙の送付、回収の手順に沿って実施中で来年度も継続されるが、費用面では他部署からの負担申し出を頂いたことで当財団の実績は12万円となった。

その他事業運営費用を加えた事業費の合計は2,518万円となり、計画2,926万円に対して408万円の未消化、予算執行率は86.1%となった。

## (内容)

摘要	金額	備考
1.研究助成	1,000万円	多施設共同研究テーマに対する助成を5件
2.COVID研究助成	800万円	個人研究テーマに対する助成を8件
3.市民講座助成	160万円	「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 東北、関東、支部の1件 「日本COPDサミット」の市民講座 東京の1件
4.患者団体助成	40万円	ポリオの会、キャッスルマン病患者会 北海道低肺の会、再発性多発軟骨炎患者会の4件
5.患者調査	12万円	在宅呼吸ケア白書調査費用
6.事業運営費用	506万円	事業運営に関わる諸費用
事業費合計	2,518万円	